



議会だより

2011年8月1日発行

第29号



■ 6月定例会	2
■ 臨時会	5
■ 一般質問	6
■ 委員会活動報告	15
■ 請願・陳情、あしがき	16

毎年恒例の八橋幼稚園の「夏祭り」。園児たち約30人がヨーヨー釣りや魚釣りなどを楽しみました。

での建替えで激論！！



逢東保育園の園庭で遊ぶ園児たち

6月定例会

平成23年6月定例会が、10日から17日までの8日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例改正、補正予算など16議案と議員提出議案1件を慎重に審議し、原案どおり可決承認しました。

(議案は4ページ参照)

請願審議に議論白熱！

6月定例会は、請願2件、陳情2件を各常任委員会で審議しました。(結果は15ページ参照)

最終日に委員会報告を審議したが、特に逢東保育園に関する請願は、活発な議論が展開されました。

逢東保育園の早期改築を求める請願書の委員会報告は「趣旨採択」でありました。

理由は、保育園の早期改築は望まれるが、現在地の改築は交通アクセスや工事中の保育の問題があることが理由でした。

僅差で趣旨採択

この「趣旨採択」の報告に対して、多数の傍聴者の見守る中、活発な質疑や討論が展開されました。

注目の採決の結果は、趣旨採択に賛成9人、反対8人で趣旨採択と決まりました。

採決後、川本議長から町長に早期に結論、方向付けをしていただきたいと意見を述べました。

逢東保育園の早期改築を求める請願書 (請願本文)

請願理由

現在、保育園をとりまく状況にはさまざまな在り方について議論されていますが、60名前後の園児が通う逢東保育園を統廃合する理由はありません。保護者会は勿論のこと、地域の人たちの連携、温かい交わりやつながりを考えると逢東保育園の存在価値は言うまでもなく、統廃合することは琴浦の将来にとって大きな損失であります。

また、一部には、保育園の交通アクセスが悪いと言われる方がありますが、小中学校の通学路と併用され、交通安全の観点からみれば通路幅の状況を考慮しても一方通行は妥当であり、不都合を感じることはありません。

過日、保育園の外壁を修理していただきましたが、建物の内部を見ると更衣室がなく、狭い事務所の中にカーテンで仕切りをし利用したり、トイレの中で着替えている始末です。0歳児の部屋を見ますと他の保育園とは比較するに値しない程お粗末な状況であります。去る、2月28日に山下町長に逢東保育園の早期改築を願う嘆願書と1,087名の署名簿をそえて提出いたしました。私たち保護者会や地域住民のみなさんの熱い思いの結晶であり、必ずや理解していただけるものと思います。子供達は、琴浦町の未来を支える大きな宝、今一番支えてやるべき責任を私たちが礎となつてすることこそ全てであり、一日も早い逢東保育園の改築を求め請願いたします。

逢東保育園の請願

質疑

大田議員

賛否の構成は？

高塚委員長

4人全員が趣旨採択に賛成

藤本議員

現在地に改築とは拡大解釈した委員会に問題があるので、は？

高塚委員長

今回出された請願は、現在地に改築と判断した。

石賀議員

行政の対話がない。そのことを委員会は追及したのか？

高塚委員長

町と住民と十分に話し合うのが筋であると全員一致した意見である。

石賀議員

全面改築を町に提言してほしいがどうですか。



高塚委員長

早急に改築の必要があるという認識を持っている。町は地元と十分に話し合いしてほしい。

桑本議員

統廃合について委員会ではどんな発言があったのか。

高塚委員長

委員会として統廃合について踏み込んだ議論はしていない。

討論

反対

藤本議員

次世代を担う子どもたちのため採択とすべきだ。

桑本議員

早期に適地に改築という事で採択とすべきである。

賛成

青亀議員

願意は理解できるが、現在地での改築は問題があり、趣旨採択としたい。

武尾議員

現在地での改築は駄目だ。適地に早急に建てるべき。

新藤議員

現在地以外であれば採択としたいが、この請願では趣旨採択である。

趣旨採択とは何か？

議会で審議される議案などの賛否は、通常「可決」または「否決」のどちらかになるのですが、陳情や請願の審議の場合は、本議会では「採択」「不採択」「趣旨採択」と3通りの結果があります。

さて、この「趣旨採択」とはどういうことなのかと町民の方に聞かれることがあります。

例えば、委員会などで請願の内容を審議したときに、請願者の願意は理解でき趣旨には賛成であるが、町の財政事情などから実現するには問題があるのではないかという場合に、「採択」ではないが、請願者の気持ちを考えて「不採択」にはできないと言いうことで「趣旨採択」と意思決定をする場合があります。

平成23年琴浦町 第5回定例会 (6月10日～17日)

区分	議 案 名	補正額	補正後	審議結果	
補正予算	平成23年度琴浦町一般会計補正予算(第2号)	1億1204万円増	100億1304万円	原案可決	
	平成23年度琴浦町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	2541万円増	22億7421万円	原案可決	
	平成23年度琴浦町介護保険特別会計補正予算(第1号)	579万円減	20億7120万円	原案可決	
	平成23年度琴浦町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	304万円増	10億8929万円	原案可決	
	平成23年度琴浦町水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入	—	2億6701万円	原案可決
		収益的支出	385万円減	2億3816万円	
条例	琴浦町農村多元情報連絡施設整備分担金条例の制定			原案可決	
	琴浦町野菜共同出荷所条例の一部改正			原案可決	
専決処分	平成23年度琴浦町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	5633万円増	7503万円	承認	
	琴浦町税条例の一部改正			承認	
その他	琴浦町野菜共同出荷所の指定管理者の指定〔指定管理者 鳥取中央農業協同組合〕			原案可決	
	琴浦町財産区管理会委員の選任につき同意を求める(5地区)			同意	
	倉吉市との間における定住自立圏形成協定の変更			原案可決	
請願・陳情	請願2件、陳情2件(16ページ参照)				

人 事

◎下記の財産区管理会委員の選任について同意しました。

(敬称略)

八橋財産区	山内 茂 佐伯 博	松田道昭 山村 茂	木村英市 桑本賢治	石賀將義
浦安財産区	藤本則明 前田正秀	山田満男 盛山 明	上田公蓮 永田定秋	久米 勇
下郷財産区	桑本文利 門脇正人	山田禎範 日置悦夫	山下幸雄 川本直秋	小林忠雄
上郷財産区	松本清志 久米 優	桑本光博 宮本勝宏	横山英明 小倉良一	山本克美
古布庄財産区	杉山信一郎 橋田照雄	山本英明 清山道行	坂根信慶 山下宗敬	馬野 榮

◎琴浦町農業委員

福井孝幸 氏(杉下)を全会一致で推薦しました。

◎人権擁護委員の推薦について

足達泰久 氏(保1区)

村上 隆 氏(竹内)の2人を全会一致で適任であると意見を付しました。

臨時会

平成23年琴浦町 第4回臨時会 (5月24日)

区分	議案名	補正額	補正後	審議結果
条例	琴浦町国民健康保険税条例の一部改正			原案可決
専決処分	平成22年度琴浦町一般会計補正予算(第10号)	8246万円増	110億3174万円	承認
	平成23年度琴浦町一般会計補正予算(第1号)	100万円増	99億100万円	承認
	平成22年度琴浦町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	-	23億4901万円	承認
	平成22年度琴浦町介護保険特別会計補正予算(第5号)	1479万円減	21億3360万円	承認
	平成22年度琴浦町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	496万円減	1億9483万円	承認
	平成22年度琴浦町下水道事業特別会計補正予算(第5号)	10万円減	10億8094万円	承認
	琴浦町国民健康保険税条例の一部改正			承認
	債権の放棄 契約解除違約金など 257,366円			承認

国保税条例一部改正

国民健康保険税 1世帯あたり6.5%値上げ!!

臨時議会で国民健康保険税の税率改正が可決され、税額が引き上げとなり、1世帯あたり平均10,331円の値上げとなりました。昨年度の国保会計の決算は大きな赤字となり、一般会計から4000万円繰り入れての引き上げが必要となりました。

改定された税率などは次のとおりです。

医療給付費分	区分	平成22年度	今年度
	所得割	6.0%	被保険者に係る基準総所得額 × 6.1%
	資産割	24.5%	被保険者に係る固定資産税 (土地・家屋分) × 24.5%
	均等割	20,700円	被保険者数 × 21,500円
	平等割	20,000円	1世帯につき × 20,000円
	1世帯あたり金額	101,262円	106,538円

後期高齢者医療保険支援金分	区分	平成22年度	今年度
	所得割	1.8%	被保険者に係る基準総所得額 × 1.9%
	資産割	8.5%	被保険者に係る固定資産税 (土地・家屋分) × 8.5%
	均等割	7,000円	被保険者数 × 7,200円
	平等割	5,700円	1世帯につき × 6,000円
	1世帯あたり金額	32,032円	34,357円

介護納付金分	区分	平成22年度	今年度
	所得割	1.5%	2号被保険者に係る基準総所得額 × 1.6%
	資産割	7.0%	2号被保険者に係る固定資産税 (土地・家屋分) × 8.0%
	均等割	7,900円	2号被保険者数 × 8,100円
	平等割	5,000円	1世帯につき × 5,300円 (2号被保険者がいる場合)
	1世帯あたり金額	25,709円	28,439円

- ※ 基準総所得額 = 所得額 - 基礎控除33万円
- ※ 2号被保険者は40歳から64歳までの被保険者
- ※ 1世帯あたり金額は、試算金額の平均値

ここが聞きたい

一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
石賀 榮	・逢東保育園について	6
藤本 則明	・保育園の統廃合について ・防災について	7
新藤 登子	・地域自主防災組織100パーセントへの取り組み	8
青亀 壽宏	・通学路の安全対策のその後について ・国民健康保険の一部負担金減免など実施要領について	8 9
手嶋 正巳	・街路灯の電気代支払い方の相違について ・「ゴパン」の購入に、町が補助金を	9 10
金田 章	・完成する赤碓新港による水産業の振興と町勢の発展対策について	10
小椋 正和	・今後の町政について ・船上山ダム法流水の活用について	11 12
高塚 勝	・防災について ・行政座談会について	12 13
桑本 始	・地産地消で地域農業を守る「ファームマイレージ運動」について（提言）	13
語堂 正範	・財源について ・住民との協働について	14

6月定例会の2日目、10人の議員が町政への提言や政治姿勢を16項目にわたり質問しました。一般質問は、議員が町の行財政全般について執行機関に質問し、町の政治姿勢を明らかにするものです。今回、議員一人の質問時間を30分間とし、町長への質問回数は無制限としました。

議会開催中は傍聴ができませんので、ぜひお出かけください。

逢東保育園について

早急に話し合いたい

山下町長



石賀 榮 議員



①平成22年8月2日の前議長署名の請願書をどう受けとめているのか。

②中電技術コンサルタント株式会社に浦安・逢東統合の保育園を浦安保育園に設置するという事で委託されたのか。

③教育民生常任委員会9月、12月の審議内容をどのように受けとめているのか。

④平成22年10月20日浦安・逢

東保護者会説明会、町長は欠席されたが、その理由は。

⑤平成22年10月20日の会で逢東・浦安保育園が統合した場合と逢東保育園単独の場合の事業費を求められているが、どうなったか。

⑥合併特例債の最終年度に統合保育園を改築すると担当課長が説明しているが事実なのか。

⑦逢東保育園関係者から嘆願書が提出された。議会に報告がない理由は何か。



①請願書はどの紹介議員であった

も基本的な姿勢として真摯

に受け止めている。

② 技術的な診断を委託し、詳細に検討した。無駄遣いではない。

③ 9月は浦安保育園の増改築は行なわれない報告をした。12月は逢東保育園の全面改修の報告をした。

④ 設計専門業者の診断結果などの説明会だったので副町長が出席した。責任を回避してはいない。

⑤ 当日は、単独での新設はないのかという質問であり、現段階で考えていないと回答した。具体的な金額は答えていない。

⑥ 昨年10月の月例報告会で報告した。

⑦ 3月定例会の一般質問の中の質問、答弁により議会には周知されたと受け止めている。

保育園の統廃合すべきでない

話し合いを持ちたい
山下町長



藤本 則明 議員



保護者会、地域住民の意思を反映

しないような統廃合はすべきでないと考え、町長の所見を伺う。



琴浦町保育

園・幼稚園のあり

方審議会の答申内容を尊重したい。今後は、幅広く話し合いを持ちたいと考えており、まずは逢東地区の皆さんと話し合いたいと考えている。



防災の見直しは

町民と一体となって
取り組みたい
山下町長



東日本大震災か

ら3カ月が経過し

たが、全国の自治体の中には防災の見直しをすべきとの声が聞かれる中、琴浦町としてどのように考えているのか町長の所見を伺う。

域防災フェスタを実施する計画をしている。

1月の豪雪時のように、自助、共助、公助の連携も必要であると考えている。



浸水予測図に伴

う避難場所などの

検証、津波ハザードマップの作成、津波避難計画、遠隔発生・近傍発生の方策、町地域防災計画の見直し、津波情報伝達、避難訓練などの実施を考えており、今年の11月に本町で鳥取県地



自主防災組織100パーセントへ

積極的に取り組んでいく

山下町長



新藤 登子 議員



このたびの

東日本大震災

で地震、津波への対策や避難所の安全性の確認、また、自治体の防災対策に対する住民の強い危機感が感じられる。

地域防災計画や避難所の経路、場所など早期の点検が急がれるべきと思う。地震、津波が来た場合の避難計画

や対策の再確認を望むところである。

町の自主防災組織も少しづつ進んでいるが、組織率100パーセントを目標に「いざ」と

言うときのために備えるべきと考える。町長の所見を伺う。



もともと各

部落には自治

会防災部や自警団、私設消防団といった組織

を作っており、各種災害を想定して訓練などの活動を行っている。

県の自主防災組織の定義に基づくと、町内の

組織率は99%になっている。残りの1%は福祉施設などで、実質的に組織率は100%に近いと認識している。

また、町に規約、防災計画を提出し、届け出を行っている組織は、49集落、29組織で

全体の約25%となっている。なかなか増加していないが、今後もしろんな会でPRを行っていききたい。

の側溝に蓋をし、子どもたちの通学の安全の確保をはかるべきだと指摘してきたが、いまだに実現していない。

通学路に限らず町道の安全対策は生活密着

通学路

生活密着型で安全な町づくりを

誠意を持って取り組む

山下町長



青亀 寿宏 議員



大震災を契

機に安全な町

づくりが大きなテーマになってきた。

私はこれまで通学路の側溝に蓋をし、子どもたちの通学の安全の確保をはかるべきだと指摘してきたが、いまだに実現していない。

通学路に限らず町道の安全対策は生活密着

型の公共事業として着実に実施すべき課題です。担当課長が「側溝に蓋をすれば車が寄ってきて、かえって危ない」などという暴言を吐き、事実上実施を妨害してきた。今後、どのように改善するか。

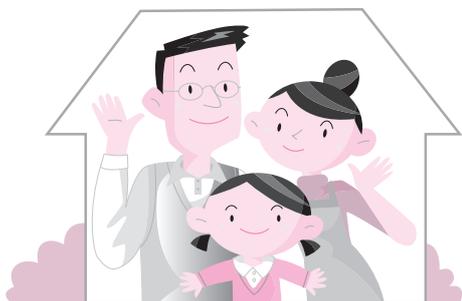
合理性や的確性があるものについては、当然予算的な制約もあるが、基本的に誠意を持って取り組むという姿勢である。



通学路の安

全点検を必要

に応じて取り組んでいる。今後も教育委員会など関係課と連携し、歩行者の安全確保を図っていききたい。



再度精査してみたい

山下町長



かねてから
議会で要求し

これは、欠陥要綱

てきた国保法44条の
「一部負担金」の減免
・免除・猶予を実施す
る要綱ができていた。

であり、見直しが必要
と思うが見直しをする
のか。

「広報する」との約束
をなぜ果たさないの
か。



広報不足と
いうことであ
れば、その指摘を真摯
に受け止めたい。

町の「要綱」は国の
基準を下回り、国から
の財政支援の道が断た
れるものになってい
る。

この要綱は、厚生労
働省の通知で示され、
本年4月1日に制定し
ており、事業や業務
の休廃止、失業により
収入が著しく減少した
ときなどに、入院療養
が必要となった人など
を対象にする制度であ
る。特別な事情のない
低所得者については、
生活保護の関係、副次
的意味合いが非常に強
くなるので、要綱の中
で取り上げていない。
担当課と連携を持ち適
切に適用されるよう進
めたい。

また、再度研究し、
精査しながら見直すべ
きところは取り組んで
いきたい。

また、この町の要綱
は「無職」の世帯は、
世帯主が死亡するか障
がい者にならないけれ
ば救済されないことにな

る。

また、再度研究し、
精査しながら見直すべ
きところは取り組んで
いきたい。



今年度本格的に取り組む

山下町長



手嶋 正巳 議員



東伯地区と
赤碓地区とで

は街路灯の電気代の支
払方に相違がある。東
伯地区ではJR浦安駅
から北へ向かって旧国
道までの電気代を地元
の徳万区が支払ってい
る。一方赤碓地区では
JR赤碓駅から九号線
までの電気代を町が支
払っている。

このことについて平

成20年3月定例会で質
問し、当時の田中町長
は「なるべく早い機会
に同一になるようにす
る」と答弁された。あ
れから数年経過した
が、今日現在いまだに
同一となっていない。
いつになったら同一と
なるのか明確な回答を
伺いたい。

えた時点での移管計画
でしたが、計画から3
年経っており、取替え
完了地区から移管の方
向で関係部落と協議
し、理解を得ながら進
める方向で検討したい
と考える。



合併から6
年が経過し、

当初計画より財政面で
の関係などがあり、移
管時期が延びている。
当初計画では、すべて
の街路灯の取替えを終



ゴパン購入者に補助をしてはどうか

手嶋議員

慎重に検討すべき

山下町長



米の消費が低迷している。昨年7月から今年6月までの一年間の全国の消費量は、前年の比で14万トン減の810万トンで、二年連続の過去最低を更新している。

Q 低迷している

半額を町が補助してはどうか。ゴパンの実売価格は一台5万円前後なので半額の2万5千円を補助金として100台分250万円を予算で組んではどうか。町長の考えを伺う。

非常に物の考え方に柔軟性を持つ、役所の感覚でないものを持ちながら、考えていくことはかなり意識しているが、ゴパンのことについては、消極的、慎重に考えざるを得ないと思う。



A 農林水産省によると、特

来年6月までの消費量についても更に落ち込み、805万トンと推計されている。

そこで、米の消費低迷の打開策として、家庭用パン焼き器ゴパンを町民が購入する際に

定の家電製品に公費で補助するのは、異例ではあるが、福島県湯川村で100人に補助されたとして公表されている。

る。



赤碕新港どう活用するか?

漁業環境を底上げしたい

山下町長



金田 章 議員



Q 昭和62年より45億円を費

やし整備着工された赤碕新港が今年度中に完成供用開始となるが、町長の考えを伺う。

① 供用開始目標月はい

つか
② 水産業の振興と町発展のため、新港をどのように活用するか具体的に伺う。

③ 設備と機能につい

て、港内の水深、接

岸可能な船舶の大き

さ、給水設備、供給

電源、公衆トイレな

どの設置について

④ 港湾関連施設用地の

利用計画。

⑤ 完成記念行事の計画

はどうか。

② 地元と町が主体とな

って実施する地域振

興策、担い手の育成

事業及び藻場の造成

などのソフト面の

施策も合わせて実施

し、漁業を取り巻く

環境を底上げし、地

域全体を魅力あるも

のにすることが重要

である。



A ① 泊地及び岸壁につ

いては既に使用でき

る状況である。本年

8月に臨港道路が完

成し、事業が完了す

る予定である。

③ 港湾水深3m確保予

定。20トンまでの着

岸を想定。給水設備、

電源、公衆トイレは

計画にない。

④ 今現在計画にない

が、関係機関で協議

し、有効な利用を図
討したい。

る必要がある。

⑤ 特段考えていない
が、声があれば、検



赤碕港全景

総合計画

後期計画どうするの

いろいろな事業を反映させたい

山下町長



小椋 正和 議員



前期基本計
画の成果をど
うとらえているか。

後期基本計画に町長
のマニフェストはどう
生かされるか。
少子化対策、人口増
加対策どう取り組み
めるのか。

雇用対策、定住対策
は今後促進されるの
か。

農林漁業の活性化に
よる商工業の活性化の
推進は。

町内商工業の活性
化、グルメストリート
の支援対策は。

水資源の活用は企業
の誘致が県内に実績と
してあるが、本町では
取り組まれないのか。
東日本大震災以降、
今後の財政推計をどう
とらえているのか。



8月に事業
完了した有線

での防災行政無線シス
テムを初め、東伯中山

道路の開通、物産館こ
とらの工事着手など
重要課題を積極的に取
り組んだ。

人口増の対策は、雇
用の場の確保、活力あ
る企業の育成だと考え
る。同時に町民が安心
して暮らせる魅力ある
町づくりのため、住宅
環境の整備や子育て支
援なども重要である。
いろいろな事業施策を総
合的に後期計画に反映
させたい。

いろいろな組織の連携
を図り町として常に問
題意識を持ちながら進

めていきたい。水ビジ
ネスについては、基本
的に慎重に考えるべき
と思う。

財政推計は、当初計
画に盛り込んだ事業の
財源を把握し、できる
限り現実に沿ったもの
となるよう考えている
が、非常に困難である
と認識している。



船上山ダムで水力発電を

小椋議員

積極的に取り組んでいきたい

山下町長



東日本大震災により、福島第1原子力発電所大

事故発生を受けて、原子力発電依存の賛否が活発化し、自然エネルギーの活用、見直しが

言われている。



水力発電を行うことは以前から関心を持っていた。東伯地区土地改良区連合が平成21年にコ

ンサルタントに委託し検討したが、採算性の確保は困難な結果であったと聞いている。

しかし、東日本大震災以降自然エネルギーの導入などの支援措置の拡充など議論されており、社会状況の変化を的確にとらえ、町にとって有利な状況を見

逃すことのないよう県とも連携を取って進めていきたい。また、発電システムの導入手続きに長期を要することから、国への制度緩和についての申し入れを県へ要請していきたい。

船上山ダムは、農業用灌漑ダムとして下流域水田の水量確保を目的として造成されているが、水量の豊富さもあり、平常時毎秒120リットルの放水がなされている。

自然エネルギーの有効活用を考えれば、水力発電施設の建設は時



災害対策は万全か

防災計画の見直しを図る

山下町長



高塚 勝 議員



① 町は島根原発から54kmに位置する。原発事故の対応は、



① 地域防災計画の改定を計画しているの

建物も円型で利便性も悪い。なぜこの位置にこのような建物になったのか。

などの検証、津波ハザードマップの作成など必要に応じて見直し、検討する。

② 船上山、小田股ダム決壊の対応は。

② ダムの設計にあたり安定性の検討を行い、試験湛水を実施するなどして供用開始しているが、検討したい。

③ 津波の高さ毎の浸水範囲図の作成は。

③ 県の新たな浸水予測図に基づく避難場所

④ 逢束に総事業費5030万円で建設された防災備蓄倉庫は、町有地で他に適地がなかったのか。

④ 大型車の進入可能、町民に分かりやすいなどの利便性を考慮して土地を購入した。ドーム型の安定した構造で軽量のた

め地震に強く、耐震性である。また、耐熱性にすぐれ、鉄のようになびきず半永久的に利用でき、利便性などにも問題ない。

役場新庁舎の説明会は？

高塚議員

要望があれば説明する

山下町長



役場新庁舎
に関する住民

説明と地区の要望に関する行政座談会を9地区で開催することになっている。八橋、赤碕、浦安の各地区は終了している。古布庄は開催したが、役場新庁舎の説明はなされなかった。すべての地区の行政座談会を終了するのはいつですか。

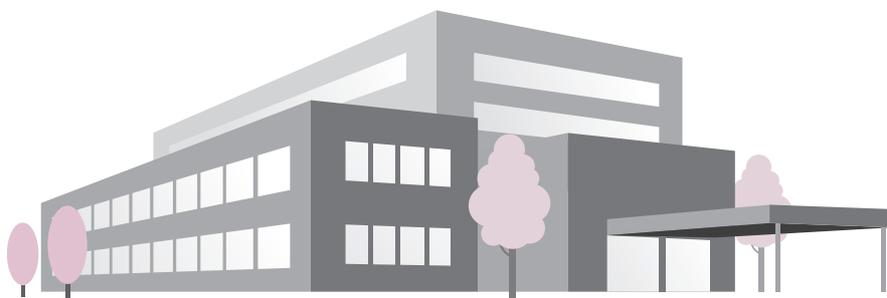
のテーマや開催時期の

要望を出してもらおうように9地区の区長会長に通知している。あるいは要望があれば各部落や団体などに出かけていき意見交換をおこないたい。その中で要望があれば新庁舎建設の状況話したい。



今年の区長
会でも新庁舎
の説明はしている。

また、地区単位の行政座談会または懇談会



農産物に特産品当たるシールを

検討したい

山下町長



桑本 始 議員



地場農産物
を買ってもら

うことで農地を守り地域農業を支えていく「ファームマイレージ運動」が進んでいる。例えば、町内の直売所、スーパーなど協力店の町内産の農産物に貼られた点数付きの「グルメ王国・琴浦町」のシールを10点集めて

応募すると特産品（琴浦三昧）が当たるなど。

安全安心な農産物づくりに取り組む農業の実態の理解促進を図りたいと政策提言するがどうか。



比較的女性
には魅力的に

映るかもしれないが、いろんなリスク、予算、あるいは組織のことなど検討し、研究するべきと考える。



基金の運用で財源の安定化を

株や債権での運用は考えていない 山下町長



語堂 正範 議員

Q 各所管課で管理してきた基金を一本化し、事務

の大幅な簡素化を図るとともに柔軟性を持たせ、基金を運用し、金利の利回りを増やし、財源の安定化を図ることができると考えるが町長の考えを伺う。

町長が事業を決定する物差しが見えにくく感じる。「行政の見える化」の必要性が叫ば

れている中で見える形の物差しを作ってはどうか。

第3セクターなど改革推進債という国の施策として時限措置（平成25年度まで）されているが、この起債を用いる考えはないか？

A

それぞれの基金には条例で目的や使い道が厳格に規定されている。一本化して株式や外国債券などで資金運用するようなことは考えていない。

具体的に予算の編成作業などの査定の経過



を町のホームページでだれでも見えるような環境をしたいと考え、今年度配慮した。

第3セクター債はよく研究してみないとなんともいえない。

住民との協働の取り組みを

問題意識を持ち取り組んでいる 山下町長

Q

自治体のあり方として住民との協働は不可欠だと考える。他の自治体では協働提案制度、1%助成制度、ポイント制度など協働促進の取り組みをしている。町長の考えを伺う。

また、自治基本条例策定に向けて委員会を立ち上げたが、役場職員内で意識は高まっているのか？

地元産品の販路開拓に向けて市場調査と広報活動は必要と考えるが、町から促進することこそ地域に対する協働と考えるが、町長

A

は取り組む考えはないか。

いろいろな提案があったので、勉強してみたい。まだまだ多くの課題があるが、問題意識をもち取り組んでいるので、ご理解いただきました。

ことうら物産館の取り組みや旧道を中心としたいろんな取り組みの中に多くの可能性や大切なものがあるように感じる。そういうことに行政として力を入れたい。



千葉県市川市のポイント制度のエコポカード

訂正とお詫び

前号の議会だよりの12ページ一般質問の見出しが「同和住宅」となっていました。正しくは「住宅新築等貸付資金」でした。お詫びして訂正いたします。

委員会 報告

総務

防災備蓄倉庫を視察

本会議初日の6月10日午前中に逢束地内に建設された防災備蓄倉庫を視察し、担当者より説明を受けた。災害時に当該施設の役割が大いに発揮



防災備蓄倉庫の視察

できることを期待したい。また、午後からは各所属課からの報告の後、委員会に付託された陳情一件について、慎重に審議した結果つぎのように決定した。

町の機関における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する陳情は、町の業務で行政書士法が適正に運用されるよう陳情されたものであり、願意について理解できるので「趣旨採択」とした。

委員長 小椋正和

教育民生

保育園の請願は趣旨採択

6月定例会において審査付託された請願「逢束保育園の早期改築」と陳情「デポジット制度法制化」について、6月10日と14日に委員会を開催し、10日には、逢束保育園保護者会長の高見さんと副会長の山田さん及び紹介議員4人に出席していただき請願内容について聴き取りをした。

請願の内容は、現位置での改築を要望されているが、交通アクセスや工事中の保育に問題があるため、願意は理解できるが現位置での改築は困難であるとして委員全員一致で趣旨採択と決定した。

陳情は、委員会で全員一致で採択され、本会議でも全会一致で採択とし意見書を提出した。

学校計画訪問

6月21日から7月1日まで町教育委員会主催の学校計画訪問を全議員に呼びかけ参加



八橋小学校の水泳授業の様子

のサポート体制や時代に合った農業経営とマネジメントを実践する人材育成法などの話を聞き、次世代を担う農業青年たちと活発な意見を交わした。

町道整備の請願は採択

6月14日、6月定例会で審査付託された請願「町道別所中線の拡幅整備について」の現地を視察し、請願者と担当課の説明を受け審査した結果、全員一致で採択と決した。

委員長 桑本 始

農林建設

町農業青年会議と意見交換

5月10日、町農業青年会議と「農業問題及び施策検討会」を開催した。

農業生産法人(有)トップリバーの農場長で鳥取市出身の西根祐輔氏の、経営栽培・販売



別所の現地視察

広報特別委員会

広報研修会実施 議会だよりの使命とは？

6月6日、前北栄町議会広報常任委員長の神宮弘幸さんを講師に研修会を行なった。

北栄町が全国議会広報誌最優秀賞を受賞した議会だよりを基に、広報の考え方などの指導を受けました。

今までわが町の議会だよりは、定例会などであった事実を町民にお伝えすることが使命であると考えていたが、町民に分かりやすい議会だよりになっていったのか？町の広報とは違う議会の広報となっていたのか？など今後の議会だよりの方向性をだすべきではないかなど委員の中からたくさんの方の意見がでた。

委員長 藤堂裕史



請 願・陳 情

[平成23年6月定例会]

番 号	件 名	提 出 者	委員会付託	結 果
請願第3号	逢東保育園の早期改築を求める請願書	逢東保育園保護者会 会長 高見雄樹 紹介議員 藤本則明 大田友義 石賀 榮 桑本 始	教育民生	趣旨採択
請願第4号	請願書 町道別所中線の拡幅整備について	別所区長 入江政満 紹介議員 井木 裕 前田智章 石賀 榮 武尾頼信 小椋正和 藤堂裕史	農林建設	採 択
陳情第2号	町の機関における行政書士法の遵守徹底による窓口業務の適正化に関する陳情書	鳥取県行政書士会 会長 有田 敬	総 務	趣旨採択
陳情第3号	拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について	環境自治体を目指すちっこ委員会 委員長 荒木フサエ 他	教育民生	採 択 意見書提出



今年の梅雨入りは例年より早く、6月の気温は前例のない高温となり、また今年の夏も地球温暖化により連日暑い日が続いています。

3月11日の東日本大震災は地球上では最大級のもので日本全体が最悪の状態でありましたが「頑張ろう日本」を合言葉に復興を願い、琴浦町議会も支援をした所です。

6月の定例会から一般質問は一問一答で質問時間は30分となり活発な議論となりました。今後も町民の目線で活力あふれる町づくりを目指し、全員頑張ってください。

議会広報委員会では委員一同わかりやすく親しみの持てる内容にしたいと考えています。

町民の皆様のお意をお待ちしております。

(井木 裕)

議会広報特別委員会

- 委員長 藤堂 裕史
- 副委員長 山田 義男
- 委員 井木 裕
- 委員 青亀 壽宏
- 委員 高塚 勝
- 委員 語堂 正範